

宝塚市地域児童育成会（放課後児童クラブ）
待機児童解消の取組計画

平成25年（2013年）7月

子ども未来部

目次

1	地域児童育成会待機児童解消計画の策定及び地域児童育成会の現状.....	1
	(1) 待機児童解消に向けての取組計画の策定	1
	ア 計画策定の趣旨	1
	イ 計画の期間.....	1
	(2) 地域児童育成会の現状	1
2	待機児童の推移と今後の推計.....	3
	(1) 地域児童育成会入所児童数と待機児童数の推移	3
	ア 待機児童数の推移.....	3
	イ 待機児童発生の変因	4
	(2) 待機児童解消に向けた現状と今後の推計	4
	ア 待機児童の現状	4
	イ 今後の推計.....	4
3	待機児童解消対策	6
	(1) 待機児童解消対策の考え方	6
	ア 私立保育所の新設誘致に合わせた放課後児童クラブの併設による整備.....	6
	イ NPO法人や社会福祉法人など非営利団体による民間放課後児童クラブの助成	6
	ウ その他の施策	6
	(2) 待機児童解消対策.....	7
	ア 計画一覧	7

1 地域児童育成会待機児童解消計画の策定及び地域児童育成会の現状

(1) 待機児童解消に向けての取組計画の策定

ア 計画策定の趣旨

児童福祉法第21条の9により市町村は、児童の健全な育成に資するため、その区域内において、放課後児童健全育成事業が着実に実施されるよう、必要な措置の実施に努めなければならない旨と、第21条の10において、市町村は、地域の実情に応じた放課後児童健全育成事業を行うとともに、当該市町村以外の放課後児童健全育成事業を行うものとの連携を図る等により、放課後児童健全育成事業の利用の促進に努めなければならない旨が規定されている。

本市では、これまで市立の地域児童育成会については、需要に応じて最大80人まで定員の拡大を行って来るとともに、長尾すぎの子クラブにおいても長尾地区の待機児童対策として平成25年度で46人の受入れを行っているが、それでもなお、平成25年4月1日現在で、市内4小学校区（宝塚第一小学校区、宝塚小学校区、売布小学校区、長尾台小学校区）に計49人の待機児童が発生したことから、待機児童の解消を図るために本計画を策定するものである。

イ 計画の期間

平成24年8月に公布された「子ども・子育て支援法」により、平成26年度の上半期には「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定が義務付けられており、また、第2次宝塚市次世代育成支援行動計画「たからっ子「育み」プラン」の前期行動計画も同時期に策定することとなっており、その中では、平成27年度から予定されている小学校6年生までの対象拡大に対する需要量を見込んだ計画となることから、本計画の期間は、それまでの間の平成25年度及び平成26年度の2年間とし、平成27年度当初に開設する施設等を含むものとする。

(2) 地域児童育成会の現状

市が財政負担を行っている放課後児童クラブとしては、市立小学校24校すべてに市立の地域児童育成会を開設して放課後留守家庭児童の受入れを行っているとともに、市立長尾小学校内に長尾地区のまちづくり協議会が長尾地区の待機児童解消のために設立した「NPO法人長尾すぎの子クラブ」（定員40人）があり、また、財政負担はしていないが、社会福祉法人愛和会が、なかよし保育園に併設した「元気っ子」（定員10人）がある。

(平成25年4月1日)

種 別	施設数	定員	緊急枠	受入可能数	入所児童数	充足率
市 立	32	1,720	16	1,736	1,264	72.8
民 間	2	50	—	50	53	106.0
計	34	1,770	16	1,786	1,317	73.7

2 待機児童の推移と今後の推計

(1) 地域児童育成会入所児童数と待機児童数の推移

ア 待機児童数の推移

ここ数年、育成会室の建設や拡張、空き教室の確保による増設などにより定員を増やしてきたにもかかわらず、待機児童数については、平成22年度は55人、23年度は24人、24年度は20人、25年度は49人となっており、年度によって地域児童育成会の需要は異なっている。

地域児童育成会入所児童数一覧							各年度4月1日現在				単位：人
育成会名	21年度	21待機	22年度	22待機	23年度	23待機	24年度	24待機	25年度	25待機	
仁川	78		79		80	10	79		79		
高司	64		57		51		36		47		
良元	80	5	74		61		59		52		
光明	34		31		26		28		39		
末成	46		53		43		41		40		
末広	49		44		40		31		40		
西山	38		40	4	46		59		62		
逆瀬台	40	2	39		30		36		36		
宝塚第一	80	30	80	20	78		80	13	80	17	
すみれが丘	51		52		49		34		24		
宝塚	80	17	80	7	80		78		80	14	
売布	80	21	80	20	80	3	74		80	9	
小浜	50		47		33		26		23		
美座	37		40	2	40	4	33		45		
安倉	62		64		60		68		66		
安倉北	43		45		35		50		46		
長尾	80		80		80		80		96		
長尾南	80		80	2	80	3	71		76		
丸橋	79		75		65		70		64		
中山桜台	43		49		47		55		44		
中山五月台	19		22		12		10		15		
山手台	39	1	58		60	4	60	7	71		
長尾台	40	3	31		31		39		40	9	
西谷	27		22		25		19		19		
計	1,319	79	1,322	55	1,232	24	1,216	20	1,264	49	
市立定員合計	1,600		1,620		1,660		1,660		1,720		
長尾すぎの子クラブ	22		26		30		38		39		
元気っ子	9		15		17		14		14		
合計	1,350	79	1,363	55	1,279	24	1,268	20	1,317	49	
定員合計	1,630		1,655		1,700		1,700		1,780		

イ 待機児童発生要因

これまでの取組みとして、市立の地域児童育成会の入所定員を平成21年度の1,600人から平成25年度には1,720人に増やしているが、男女共同参画社会の進展により働く女性が増えたことや核家族化の進行など様々な要因とともに、各学校の学年ごとの児童数の変化の影響もあり、待機児童が発生している。

(2) 待機児童解消に向けた現状と今後の推計

ア 待機児童の現状

待機児童が発生している校区は、いわゆる大規模校と呼ばれている小学校が主であり、市立の地域児童育成会を1小学校につき定員80人を上限としていることや民間による放課後児童クラブを設置するための空き教室や活用できる空地もほとんどないなどにより、学校内での施設による待機児童解消は困難な状況である。

イ 今後の推計

平成26年度と平成27年度の2か年の推計を教育委員会作成の学校、学年ごとの児童推計を基に、平成25年度の地域児童育成会の入所申請率を適用して推計したところ、平成26年度の待機児童が発生する校区は、宝塚第一小(14人)、宝塚小(17人)、売布小(5人)、長尾台小(11人)の4校であり、平成27年度では、仁川小(3人)、宝塚第一小(18人)、宝塚小(20人)、売布小(4人)、長尾南小(6人)、山手台小(1人)、長尾台(10人)の7校と予測される。(次ページ表参照)

平成26年度から27年度の地域児童育成会待機児童予測

育成会名	平成25年度(実績)						平成26年度						平成27年度					
	児童数	定員	申請者数	入所者数	申請率	待機数	児童数	定員	申請者数	入所者数	申請率	待機数	児童数	定員	申請者数	入所者数	申請率	待機数
1 仁川	366	80	79	79	21.6%		360	80	77	77	21.6%		385	80	83	80	21.6%	3
2 高司	167	80	47	47	28.1%		182	80	51	51	28.1%		201	80	56	56	28.1%	
3 長元	181	80	52	52	28.7%		183	80	52	52	28.7%		208	80	59	59	28.7%	
4 光明	113	40	39	39	34.5%		103	40	35	35	34.5%		96	40	33	33	34.5%	
5 末成	169	80	40	40	23.7%		167	80	39	39	23.7%		156	80	36	36	23.7%	
6 末広	161	80	40	40	24.8%		179	80	44	44	24.8%		196	80	48	48	24.8%	
7 西山	369	80	62	62	16.8%		326	80	54	54	16.8%		326	80	54	54	16.8%	
8 逆瀬台	138	40	36	36	26.1%		125	40	32	32	26.1%		129	40	33	33	26.1%	
9 宝塚第一	583	80	97	80	16.6%	17	635	80	105	80	16.6%	25	592	80	98	80	16.6%	18
10 すみれが丘	241	80	24	24	10.0%		239	80	23	23	10.0%		237	80	23	23	10.0%	
11 宝塚	468	80	94	80	20.1%	14	486	80	97	80	20.1%	17	499	80	100	80	20.1%	20
12 売布	363	80	89	80	24.5%	9	348	80	85	80	24.5%	5	346	80	84	80	24.5%	4
13 小浜	192	80	23	23	12.0%		229	80	27	27	12.0%		234	80	28	28	12.0%	
14 美座	161	80	45	45	28.0%		181	80	50	50	28.0%		215	80	60	60	28.0%	
15 安倉	271	80	66	66	24.4%		285	80	69	69	24.4%		297	80	72	72	24.4%	
16 安倉北	222	80	46	46	20.7%		234	80	48	48	20.7%		235	80	48	48	20.7%	
17 長尾	659	80	142	96	21.5%	46	650	80	140	80	21.5%	60	675	80	145	80	21.5%	65
18 長尾南	342	80	76	76	22.2%		362	80	80	80	22.2%		391	80	86	80	22.2%	6
19 丸橋	327	80	64	64	19.6%		364	80	71	71	19.6%		372	80	72	72	19.6%	
20 中山桜台	198	80	44	44	22.2%		186	80	41	41	22.2%		181	80	40	40	22.2%	
21 中山五月台	73	40	15	15	20.5%		71	40	14	14	20.5%		68	40	13	13	20.5%	
22 山手台	335	80	71	71	21.2%		365	80	77	77	21.2%		384	80	81	80	21.2%	1
23 長尾台	200	40	49	40	24.5%	9	211	40	51	40	24.5%	11	208	40	50	40	24.5%	10
24 西谷	45	40	19	19	42.2%		48	40	20	20	42.2%		51	40	21	21	42.2%	
小計	6,344	1,720	1,359	1,264	21.4%	95	6,519	1,720	1,382	1,264	21.2%	118	6,682	1,720	1,423	1,296	21.3%	127
長尾すぎの子クラブ		40		46		▲46		40		45		▲45		40		45		▲45
待機児童計						49						73						82

※原資料は平成25年度教育委員会施設課の児童数推計(発生率:0.23)

※各校の申請率は、平成25年度実績を次年度以降にも適用

※児童数は1学年から3学年と特別支援の合計数を使用。平成27年度以降の6学年までの対象拡大は申請率が不明のため見込んでいない。

※長尾小の平成25年度の入所者数には緊急枠の16名が含まれている。

※長尾地区の待機児童については長尾すぎの子クラブで受け入れて入れているので、待機児童数計では差し引きしている。

3 待機児童解消対策

(1) 待機児童解消対策の考え方

市内全体では定員に余裕がある状況であるが、放課後児童クラブは、小学生が通所する施設であるので、校区を越えて通所することはできる限り避けなければならないことから校区ごとに待機児童の解消を図る必要がある。

放課後児童クラブの設置にあたっては、小学校内が望ましいことから、市立の地域児童育成会の定員を学校内で場所が可能な所は最大80人まで拡充することにより対応してきたが、学校内で場所の確保ができない場合には、学校外の施設を活用していくこととなる。

これまでは、10人以上待機児童がいる場合は、民間による放課後児童健全育成事業を実施してきたが、今後はおおむね5人以上待機児童がいる場合には実施することとする。

ア 私立保育所の新設誘致に合わせた放課後児童クラブの併設による整備

今後、私立保育所の新設誘致に際して、地域児童育成会の待機児童が生じている小学校区内に整備する場合には、放課後児童クラブを行うことができる保育室を整備する。(ただし、イで対応する場合を除く。)

イ NPO法人や社会福祉法人など非営利団体による民間放課後児童クラブの助成

現在、NPO法人が運営する長尾すぎの子クラブが長尾小学校内にあるが、今後も宝塚小学校区内や他の小学校区内で待機児童が発生している場合には、積極的に開設に向けて取り組む。

ウ その他の施策

待機児童の補完的対策として、既存のファミリーサポート事業や児童館の利用を引き続き案内することとする。

その他、放課後児童クラブの要件に該当しないが、放課後に児童を預かるサービスを提供している民間の学童保育事業者で、宝塚市内に進出の意欲のある事業者に対しては、必要な情報提供を行っていく。

(2) 待機児童解消対策

	小学校区	平成26年度					平成27年度				
		児童数	定員	申請者数	入所者数	待機数	児童数	定員	申請者数	入所者数	待機数
1	仁川	360	80	77	77		385	80	83	80	3
2	宝塚第一	635	80	105	80	25	592	80	98	80	18
3	宝塚	486	80	97	80	17	499	80	100	80	20
4	売布	348	80	85	80	5	346	80	84	80	4
5	長尾	650	80	140	80	60	675	80	145	80	65
6	長尾南	362	80	80	80		391	80	86	80	6
7	山手台	365	80	77	77		384	80	81	80	1
8	長尾台	211	40	51	40	11	208	40	50	40	10
	小計	3,417	600	712	594	118	3,480	600	727	600	127

ア 計画一覧

(ア) 宝塚第一小学校区

学校外施設により民間放課後児童クラブ（定員20人程度）を前ページの(1)のアまたはイで対応する。

(イ) 宝塚小学校区

学校外施設により民間放課後児童クラブ（定員初年度14人、次年度20人）を前ページの(1)のイにより設置する。場所は栄町1丁目11-1-201、運営法人はNPO法人シェアフィールド、開設予定日は平成25年（2013年）9月1日。

(ウ) 長尾小学校区

学校外施設により民間放課後児童クラブ（定員20人程度）を前ページの(1)のアまたはイで対応する。

(エ) 長尾南小学校区

学校外施設により民間放課後児童クラブ（定員20人程度）を前ページの(1)のアまたはイで対応する。

(オ) 長尾台小学校区

学校外施設により民間放課後児童クラブ（定員20人）を前ページの(1)のイにより設置する。

(カ) 仁川小学校区、売布小学校区、山手台小学校区

待機児童数が少人数のため、ファミリーサポート事業の活用を案内する。施設整備の必要性については、適宜検討する。

なお、売布小学校区については、平成26年度に待機児童が5人見込まれるが、地域児童育成会の入所状況の特性として、夏休み以降に退所される方がいることから今後の状況を見て対応することとする。